



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 日本乾溜工業株式会社

上場取引所 福

コード番号 1771 URL <http://www.kanryu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沢井 博美

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 池田 秀孝

TEL 092-632-1050

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	9,146	△8.9	472	△11.5	492	△10.1	469	△12.0
23年9月期第3四半期	10,043	△4.0	533	△40.7	547	△40.2	534	△38.5

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 500百万円 (△10.6%) 23年9月期第3四半期 559百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	94.64	38.48
23年9月期第3四半期	114.83	41.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第3四半期	7,337	3,047	41.5	412.44
23年9月期	6,193	2,581	41.7	314.59

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 3,047百万円 23年9月期 2,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

・23年9月期期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,150	△9.6	225	△50.4	230	△51.3	200	△55.9	36.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定のため、23年9月期の優先株式の配当年率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	5,102,000 株	23年9月期	5,102,000 株
24年9月期3Q	136,762 株	23年9月期	136,762 株
24年9月期3Q	4,965,238 株	23年9月期3Q	4,651,776 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考情報)

種類株式の配当の状況

普通株式と権利の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金の総額は、以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1回優先株式					
23年9月期	—	0 00	—	10 00	10 00
24年9月期	—	0 00	—		
24年9月期(予想)				未定	未定

(注) 24年9月期の予想につきましては、配当率が平成24年10月1日の日本円TIBOR(6ヶ月物)に1.5%を加えた率によるため、現時点では未定とさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年10月1日～平成24年6月30日）におけるわが国経済は、復興需要等により緩やかに持ち直しの傾向が見られるものの、欧州政府債務危機を背景とした金融資本市場の変動や海外景気の下振れ、電力供給の制約、デフレの影響など景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。

当社グループが主力とする建設業界におきましては、平成23年度第3次及び第4次補正予算により、公共投資関係費は前年を上回るなど公共投資全般では底堅い動きとなりましたが、震災復興関連以外の公共投資、特に九州地区の公共投資については、厳しい市場環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、「3カ年経営計画」の最終年度にあたり、受注高の確保、徹底したコスト管理を実施することで、目標利益の達成に向けて全社をあげて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は91億46百万円（前年同四半期比8.9%減、8億96百万円減）、営業利益は4億72百万円（同11.5%減、61百万円減）、経常利益は4億92百万円（同10.1%減、55百万円減）、四半期純利益は4億69百万円（同12.0%減、64百万円減）となりました。

なお、当社グループの第3四半期連結累計期間の業績につきましては、主力事業である建設事業の通常の営業形態として、売上高が第2四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業における工事につきましては、東日本大震災による政府の予算執行の一時凍結や昨年4月の統一地方選挙の実施に伴う官公庁発注の遅れなどの影響を受け、前年同四半期と比べて前期末からの繰越工事が少なかったことにより、完成工事高は前年同四半期を下回りました。また、建設工事関連の資材の販売につきましても官公庁の発注遅れなどの影響を受け、低調に推移しました。

以上の結果、建設事業の売上高は75億22百万円（前年同四半期比13.8%減、11億99百万円減）、セグメント利益は5億47百万円（同13.1%減、82百万円減）となりました。

(防災安全事業)

防災安全事業につきましては、営業強化を図ってきたことに加え、東日本大震災の経験を機に、自然災害に備える意識が高まり、官公庁を中心に災害備蓄用の機材や食糧品の需要が増えたことにより防災用品の販売が増加しました。

以上の結果、防災安全事業の売上高は11億81百万円（前年同四半期比31.5%増、2億83百万円増）、セグメント利益は52百万円（同24.7%増、10百万円増）となりました。

(化学品事業)

化学品事業につきましては、売上高は4億42百万円（前年同四半期比4.7%増、19百万円増）となりましたが、原油価格の高騰により原材料の値上げが響き利益率が低下し、セグメント利益は1億14百万円（同7.6%減、9百万円減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、73億37百万円（前連結会計年度末比18.5%増、11億43百万円増）となりました。

資産につきましては流動資産が48億45百万円（同34.6%増、12億44百万円増）となりました。その主な要因は、当社グループの通常の売上形態として売上高が第2四半期連結会計期間に集中し、第3四半期連結会計期間ではその売上債権の回収が進むために現金及び預金が7億67百万円増加、受取手形が6億33百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、24億91百万円（同3.9%減、1億円減）となりました。

負債につきましては、42億89百万円（同18.8%増、6億78百万円増）となりました。その主な要因は、返済により借入金で2億9百万円減少しましたが、支払手形等の増加により仕入債務が9億66百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、30億47百万円（同18.0%増、4億65百万円増）となりました。その主な要因は、四半期純利益4億69百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において概ね予定の範囲内で推移しており、平成24年5月15日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,258,021	2,025,093
受取手形・完成工事未収入金等	2,054,003	2,514,984
有価証券	10,129	10,135
未成工事支出金	154,392	167,794
商品及び製品	105,535	107,103
仕掛品	7,939	9,333
原材料及び貯蔵品	8,109	10,044
その他	15,065	15,425
貸倒引当金	△12,270	△14,462
流動資産合計	3,600,925	4,845,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	635,285	624,491
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	74,189	61,391
土地	1,116,688	1,116,688
建設仮勘定	—	952
その他(純額)	18,198	14,561
有形固定資産合計	1,844,362	1,818,085
無形固定資産		
のれん	22,283	16,712
その他	110,361	91,779
無形固定資産合計	132,644	108,492
投資その他の資産		
投資有価証券	416,120	439,438
差入保証金	185,825	115,190
その他	94,009	86,151
貸倒引当金	△80,537	△75,537
投資その他の資産合計	615,417	565,243
固定資産合計	2,592,424	2,491,821
資産合計	6,193,350	7,337,275

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,085,136	3,051,895
短期借入金	246,420	131,420
未払法人税等	18,613	13,906
未成工事受入金	99,025	112,072
賞与引当金	71,500	62,726
役員賞与引当金	9,648	—
株主優待引当金	3,050	—
その他	186,929	167,224
流動負債合計	2,720,324	3,539,245
固定負債		
長期借入金	355,650	261,460
退職給付引当金	425,418	400,423
繰延税金負債	25,244	25,202
その他	84,716	63,099
固定負債合計	891,029	750,186
負債合計	3,611,353	4,289,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,675	413,675
資本剰余金	694,394	694,394
利益剰余金	1,443,530	1,878,537
自己株式	△17,788	△17,788
株主資本合計	2,533,811	2,968,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,185	79,025
その他の包括利益累計額合計	48,185	79,025
純資産合計	2,581,997	3,047,843
負債純資産合計	6,193,350	7,337,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	10,043,469	9,146,822
売上原価	8,372,844	7,558,656
売上総利益	1,670,625	1,588,165
販売費及び一般管理費	1,136,814	1,115,731
営業利益	533,811	472,434
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,592	10,438
受取賃貸料	3,641	4,160
受取手数料	4,255	4,165
雑収入	9,140	9,639
営業外収益合計	26,630	28,403
営業外費用		
支払利息	10,873	8,029
その他	2,253	806
営業外費用合計	13,126	8,836
経常利益	547,315	492,002
特別利益		
固定資産売却益	—	166
特別利益合計	—	166
特別損失		
固定資産除却損	131	133
投資有価証券評価損	—	7,656
投資有価証券売却損	—	379
会員権評価損	—	1,230
特別損失合計	131	9,399
税金等調整前四半期純利益	547,184	482,769
法人税、住民税及び事業税	12,315	11,881
法人税等調整額	710	984
法人税等合計	13,026	12,866
少数株主損益調整前四半期純利益	534,158	469,902
四半期純利益	534,158	469,902

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	534,158	469,902
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	25,684	30,839
その他の包括利益合計	25,684	30,839
四半期包括利益	559,842	500,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	559,842	500,742
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,721,676	898,916	422,876	10,043,469	—	10,043,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10	—	10	△10	—
計	8,721,676	898,927	422,876	10,043,480	△10	10,043,469
セグメント利益	629,858	41,853	124,125	795,838	△262,026	533,811

(注) 1. セグメント利益の調整額△262,026千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△262,026千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,522,195	1,181,996	442,630	9,146,822	—	9,146,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	63	—	63	△63	—
計	7,522,195	1,182,060	442,630	9,146,885	△63	9,146,822
セグメント利益	547,270	52,188	114,751	714,210	△241,776	472,434

(注) 1. セグメント利益の調整額△241,776千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△241,776千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間
(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

(第三者割当による自己株式の処分)

当社は平成24年8月10日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議いたしました。

今回の自己株式の処分は、当社グループの取引先を対象としたものであり、当社グループの事業を推進する上で取引先との更なる関係強化により当社グループの事業推進の安定化、今後の当社グループの成長並びに企業価値の向上を図ることを目的としております。

1. 処分する株式の種類	普通株式	
2. 処分する方法	第三者割当による処分	
3. 処分する株式数	135,000株	
4. 処分する価額	1株当たり161円	
5. 処分価額の総額	21,735,000円	
6. 処分期日	平成24年8月28日	
7. 処分先の名称等	アトムクス株式会社	100,000株
	(東京都板橋区舟渡三丁目9番6号)	
	株式会社住軽日軽エンジニアリング	35,000株
	(東京都江東区亀戸二丁目35番13号)	